



令和8年度 防衛装備庁 奨学金制度 始まります

2026

研究職技官採用枠の奨学金制度について、令和8年度4月8日（水）より募集を開始しました。

昨今の複雑な国際情勢の中、国防の最前線で防衛装備品の研究開発業務を担う国家公務員を目指してみませんか？ ▶▶▶▶

制度の概要

- ・ 月額12万円貸与
- ・ 対象年齢：31歳までに入庁できる方
- ・ 対象学年：学部3年生～博士課程3年生
(修士又は博士進学予定の方のみ)
- ・ 装備庁での在職期間4年を超え、
貸与期間の1.5倍経過で返還免除
- ・ メンターシップ制度あり
- ・ 職場見学会等イベントあり

※細部は募集要項をご確認ください。

対象となる学術分野

- ・ 情報工学
- ・ 電気通信工学
- ・ 船舶海洋工学
- ・ 機械工学

※対象となる分野は年度毎に異なる場合があります。
上記は令和8年度の募集で対象とする分野

試験の概要

一次試験：書類選考

↓

二次試験：筆記試験

↓

(全国12か所※・CBT方式で実施)

三次試験：面接・身体検査

※東京都（3か所）、大阪府、北海道（2か所）、
宮城県、愛知県、石川県、岡山県、福岡県、沖縄県

募集要項・申し込み情報はコチラ



ご質問はコチラから！✉

saiyo@atla.mod.go.jp

(防衛装備庁 研究職採用担当)

防衛装備庁 奨学金制度 Q&A

Q 1 他の奨学金制度との併用はできますか？

.....
修学後の勤務（入社等）を条件とするものを除き、併用が可能です。

Q 2 奨学生の応募に当たって基準はありますか？

.....
将来最先端の研究を担って頂くため、学業成績が優良であることが求められます（例：学会での表彰歴がある、大学の成績が良好である等）
詳細については募集要項をご確認下さい。

Q 3 途中で大学や専攻を変更できますか？

.....
変更は可能です。但し、変更できる範囲には制限があり、事前に承認を得る必要があります。個別の判断が必要となりますので、変更の予定がある場合は事前に採用担当窓口までご相談下さい。

Q 4 入庁のための条件はありますか？

.....
修士以上の学位を取得し、入庁前の選考（※）に合格する必要があります。
（※）面接、成績等による書類審査、研究内容に関する論述、プレゼンテーション及び集団討議を予定しています。

Q 5 入庁後はどのような仕事ができますか。

.....
入庁後は研修を受けたのちに、防衛装備庁の各研究所（※）に配属となり、専門性を活かして、装備品等の研究開発に従事して頂きます。

（※）航空装備研究所（東京都立川市）、陸上装備研究所（神奈川県相模原市）、艦艇装備研究所（東京都目黒区）、新世代装備研究所（東京都世田谷区）

Q 6 奨学金の返還となるのは、どのような場合ですか？

.....
留年となった場合や、修士以上の学位の取得見込みがなくなった場合、入庁前の選考に不合格となった場合などです。ご不明点は、採用担当窓口までお気軽にご相談下さい。

